

有機太陽電池の実用化へむけた界面化学技術の応用

有機薄膜太陽電池の積層界面の電子的制御は素子性能を向上させる上で非常に重要であり、以前から検討対象となっていました。しかし、実験環境の違いなどによって必ずしも再現性が確保できず、学問レベルから実用レベルへの展開には到っておりません。そこで本セミナーでは、この界面制御の問題点を洗い出し、汎用性を持たせる方向性を模索することを目的に開催いたします。

- 主催： 金沢大学 RSET 有機薄膜太陽電池部門
- 日時： 2013年12月26日（木）14:00～18:00（講演後懇親会を予定）
- 場所： 金沢大学 AV講義室（セミナー参加費無料）

プログラム

14:00-14:10	開会の挨拶
14:10-14:25	金沢大学 山本倫行 「フェニルエステル基含有新規チエノチオフェン系π共役高分子の合成」
14:25-14:40	北陸先端大マテリアル 内田崇 村田英幸 「Light soaking effectに関する簡便な評価方法」
14:40-14:55	金沢大学 南拓実 「逆型有機薄膜太陽電池のLight-soakingの機構解析」
14:55-15:10	金沢大学 田中潤 「高分子薄膜太陽電池における金属電極/有機層の界面の制御」
15:10-15:25	金沢大学 久住拓司 「アミン類によるITO電極の表面修飾と逆型有機薄膜太陽電池への応用」
15:25-15:40	金沢大学 高橋駿輝 「電子捕集層/有機発電層界面へのC60誘導体層挿入による太陽電池性能への影響」
15:40-16:00	休憩
16:00-16:50	特別講演：「有機薄膜太陽電池の積層界面の電荷蓄積・形成の直接観測と素子性能劣化機構の解明」 丸本一弘 先生 筑波大学 数理物質系 准教授
16:50-17:00	休憩
17:00-17:50	特別講演：「有機薄膜太陽電池における電極界面物性の評価と制御」 櫻井岳暁 先生 筑波大学 数理物質系 講師 JST さきがけ「太陽光と光電変換機能」研究領域 さきがけ研究者
17:50-18:00	閉会の挨拶

このセミナーは「平成25年度金沢大学と北陸先端科学技術大学院大学との教育研究活動支援」を活用して開催します。

連絡先：當摩哲也 076-264-6279 taima@se.kanazawa-u.ac.jp